

令和7年分 農業収入・経費 計算書

氏名：

【注意】

この計算書は令和7年1月1日から令和7年12月31日まで1年間の農業収入と経費について記入するものです。

【記入の仕方】

○収入

- ①『農業収入 計算書』の名称ごとに『販売金額』の合計を記入します。
- ②『家事・事業消費金額』には、収穫した農産物のうち自宅で消費したものや生産に使用したもの合計額を記入します。
※金額が不明な場合は、単価表を参考に記入します。
- ③『雑収入』には、農業に関する収入で、販売金額・家事消費金額以外のものを記入します。

○経費

- ①『農業経費 計算書』（裏面）の科目ごとに領収書を振り分けます。

※免税牛に係る経費がある場合は、さらにその中から免税牛分と田畠分に分けます。

分けるのが難しい項目については、「経費計」だけ金額を記入し、田畠分と免税牛分で按分割合を記入してください。

※減価償却費の計算方法については、『収支内訳書（農業所得用）の書き方』をご参照ください。

※果樹や搾乳牛など（販売するために育成しているものは除く。）は、成熟するまでに育成期間が必要です。

育成期間に投下した費用は、その年の必要経費とはせずに、成熟した時点で減価償却資産の取得費とし、減価償却費の計算を行い必要経費に算入します。

成熟の年齢（樹齢）の判定が困難な場合は、次の年齢（樹齢）に達した月を取得年月日とすることができます。

・牛 満2歳	・りんご樹 満10年	・なし樹 満 8年
・豚（種付用） 満2歳	・ぶどう樹 満 6年	・かき樹 満10年
・豚（繁殖用） 満1歳		

②振り分けした科目ごとに合計を出します。

③田畠分、免税牛分それぞれの合計を記入し、経費計を出します。

農業収入 計算書

販売金額の内訳

名 称	販 売 金 額	販売頭数	家事・事業消費金額
米	円		円
野菜	円		円
果樹	円		円
免税牛	円	頭	円
非免税牛	円	頭	円
乳代	円		円
たばこ	円		円
花き	円		円
	円		円
	円		円
合計	①		②

雑収入の内訳

名 称	雑 収 入
営農組合	円
農政局等からの交付金	円
中山間交付金	円
たばこ耕作組合	円
共済無事戻し金	円
助成金	円
補助金	円
	円
	円
	円
合計	③

メモ欄

農業経費 計算書

科 目	内訳メモ欄	田 畑 分	免 稅 牛 分	経 費 計 (田畠分+免稅牛分)
雇人費⑧ 春・秋作業代などの労賃(親族以外)		円	円	円
小作料賃借料⑨ ライスセンター利用料、農地の賃借料など		円	円	円
減価償却費⑩ ※当該年中に10万円以上の農機具・車両などを購入した場合に記入します。	品名:	購入年月日: 年 月 日	購入額:	円
貸倒金⑪ 売掛金の貸倒損失など		円	円	円
利子割引料⑫ 借入金の利子など		円	円	円
租税公課⑬ 固定資産税(田畠・作業小屋など)、軽自動車税、組合費、賦課金など		円	円	円
種苗費⑭ 種代、苗代など		円	円	円
畜畜費⑮ 種付料、人工授精、子牛やひなの取得費など		円	円	円
肥料費⑯ 肥料の購入費など		円	円	円
飼料費⑰ 飼料の購入費など		円	円	円
農具費⑯ 試用期間1年未満か10万円未満の農具の購入費など		円	円	円
農薬衛生費⑯ 農薬代、診療衛生費、予防注射代、削蹄代、共同防除費など		円	円	円
諸材料費⑯ ビニール、むしろ、なわ等の諸材料の購入費用、包装資材費、生産資材費など		円	円	円
修繕費⑯ 農機具等の修理費、車検費など		円	円	円
動力光熱費⑯ 農作業用の電気代、ガソリン・軽油代、灯油代、オイル代など		円	円	円
作業用衣料費⑯ 農作業に必要な作業衣の購入費など		円	円	円
農業共済掛金⑯ 水稻・家畜等の共済掛金、農作業小屋等の火災保険料や車両の損害保険料		円	円	円
荷造運賃手数料⑯ 出荷の際の包装費用、運賃や農協等に支払う手数料		円	円	円
土地改良費⑯ 土地改良区賦課金、客土費用など		円	円	円
雜費⑯ 図書費、研修費など、他の経費に当てはまらない経費		円	円	円
		円	円	円
		円	円	円
合 計		円	円	円